

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名		21 地域ゆかりの文化の保存と継承
目的	対象	市民、文化遺産
	意図	文化遺産や伝統を次世代に伝え、郷土への愛着をはぐくむ文化遺産を保存し、学習素材やまちづくりに活用する 地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産を保存・活用することにより、次の世代に継承し、ふるさと調布に対する愛着を育みます。
施策の方向		

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（Check・Action）

郷土博物館では、開館50周年にあわせた常設展示のリニューアル、国指定史跡下布田遺跡西側の整備、市指定史跡近藤勇生家跡の整備を行った。また、下布田遺跡整備事業では、市民ワークショップ、ヤギによる除草と環境学習イベント、近隣小学校との連携事業を展開した。武者小路実篤記念館では、実篤研究の情報収集発信基地として、春・秋の特別展、移動展、学校連携事業、調査・研究事業などを実施した。図書館では、名誉市民水木しげる氏の作品など、地域ゆかりの著名人の功績を生かした魅力発信を行うとともに、「映画のまち調布」の特色を生かした事業展開を行った。これらの取組により、ふるさと調布に対する「愛着の醸成」に、寄与することができた。引き続き、以下のとおり各種取組を継続して実施する。

郷土博物館の文化財保護事業においては、文化財保護法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえ、文化財を守るだけでなく今まで以上に活用する視点から、基本計画及び教育プランに基づき、事業を推進する。博物館事業においては、博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえ、より一層の質の向上を図りながら博物館に親しむ文化を形成していくため、基本計画及び教育プランに基づき事業を推進する。

図書館では、引き続き地域ゆかりの資料を収集・保存し、各種テーマの展示等で活用する。

武者小路実篤記念館では、魅力ある展示・普及事業を実施するとともに、実篤や収蔵資料に関するデジタルアーカイブの充実を図り、広く時代のニーズに合わせた情報を提供し、事業全般に活用する。これらの事業を通して、地域の教育・文化の向上に貢献するとともに、全国へ特色ある事業の魅力を発信する。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
文化遺産の数（国・東京都・市指定等文化財）	件	78 令和3年度	81	82	84 令和8年度	○	・着実に文化財の指定・登録を進め、前年度から1件の増加となった。貴重な文化遺産を次世代に引き継ぐため、今後も取組を継続する。
郷土博物館・実篤記念館の入館者数・事業参加者数（実篤公園利用者を含む）	人	4万1014 令和3年度	5万1,985	5万123	5万5000 令和8年度	▼	・実篤記念館が5年ぶりに通年開館したこと及び移動展の開催年であったことにより増となった一方で、森の地図スタンプラリーの参加者数を集計から除外したため、人数が減少した。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■21-1 文化財の保存及び活用

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
70	国史跡下布田遺跡整備事業の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・国史跡下布田遺跡に係る第1期史跡整備工事 ・市民ワークショップの開催（8回） ・地元小学校との学校教育連携事業（布田小学校4年生総合学習延べ3回）の実施	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・国庫補助事業として段階的に史跡及びガイダンス施設の整備工事を推進 ・史跡及びガイダンス施設内の展示内容の検討、施工 ・郷土博物館とガイダンス施設の管理運営体制づくり、執務環境の確保・改善 ・プレハブ作業棟解体等に伴う遺物保管倉庫の確保 ・調布市土地開発公社からの史跡用地（史跡内旧生産緑地）の買戻し ・管理運営に関する方針、事業計画、体制、予算、例規等の検討 ・史跡の保全と活用の「担い手づくり（ボランティアの育成）」の推進 ・史跡を活用した学校連携事業の継続

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①調布市文化財保護審議会の調査審議に基づく文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承 ②東京文化財ウィークへの参画による文化財の公開機会の拡大、講演会等の実施 ③国登録有形文化財真木家住宅の保存（樹木管理、室内清掃、雪害対策） ④郷土博物館分室の資料移転、遺跡調査会の移転、郷土博物館分室の解体 ⑤遺跡調査事務の直営化に伴う新たな埋蔵文化財調査の仕組みの導入及び遺跡調査会の廃止の検討 ⑥近藤勇生家跡整備事業の推進（近隣住民及び市民団体調整、文化財保護審議会における審議、整備） ⑦その他の取組 ・北多摩南部緑地公園事務所との深大寺城跡解説板等設置の調整 ・多摩川住宅の建替えに伴う埋蔵文化財調査の検討 ・真木家住宅及び深大寺城跡におけるがけ・擁壁実態調査に基づく改修・補修手法の検討	①文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承を継続 ②文化財を守るだけでなく今まで以上に活用していく視点から各種事業を展開（下布田遺跡における各種事業の実施、体験的な事業や文化観光的な事業の取組など） ③国登録有形文化財真木家住宅の保存（屋根の修繕）と活用に向けた取組 ④下布田遺跡整備事業の推進（ガイダンス施設及び史跡の整備） ⑤遺跡調査会の廃止及び遺跡調査会を介さない埋蔵文化財調査の継続 ⑥近藤勇生家跡整備事業の推進（近隣住民及び市民団体の要望を踏まえた対応） ⑦その他の取組 ・多摩川住宅の建替えに伴う埋蔵文化財調査の検討、検討に基づく取組 ・深大寺城跡におけるがけ・擁壁実態調査に基づく改修・補修手法の検討、検討に基づく取組

■21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
69	郷土の歴史・文化を核とした博物館事業の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・展示活動や講演会、収蔵資料の整理、公式YouTubeチャンネルやSNSを活用した情報発信、学校教育の学習内容に即した展示や出前授業、失われるおそれのある郷土の歴史・文化の記録作成などの実施 ・博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえた、収蔵資料の収集方針や資料管理に関する取組の先進事例調査	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえ、収集、保管、調査・研究、展示・普及を軸とした基本機能を発揮し、より一層の質の向上を図りながら、博物館に親しむ文化を形成していく。 ・「文化観光」の視点から、水車を活用した体験活動、展示内容の変更等により、深大寺水車館のより一層の魅力向上を図る。 ・今後の郷土博物館の機能、役割、運営方針、収蔵資料の収集方針など、ソフト面の課題整理を進める。博物館法に基づく博物館の登録申請を進める。
No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
70	武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・特別展（春、秋各1回）、企画展（年5回）の開催 ・たづくり移動展、関連映画上映会の開催 ・訪問型支援「みらい」及び学童クラブと連携した事業の実施 ・情報提供システム（映像視聴システム、収蔵品データベース、ホームページ、情報閲覧システム）のリニューアル作業及び一部見直しの検討 ・武者小路実篤記念館の環境調査、消火栓ポンプ呼水槽改修、空調設備等の改修工事等の実施	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・情報提供システムのリニューアルを推進する。 （デジタル情報の公開、事業全般への活用、広報事業の充実） ・展示活動（特別展、企画展など）を継続する。 ・博学連携事業における新たな教材の開発と場の提供、出張展示を実施する。 ・開館40周年（令和7年度）及び没後50年（令和8年度）に向けた展示、普及事業の企画、実施する。 ・武者小路実篤記念館の経年劣化した施設・設備の改修を行う。 ・旧実篤邸の現状調査を踏まえて今後の保存・管理に関する検討を行う。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①図書館において、「水木しげる氏関連資料」の展示、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2025」における展示会「出張！映画資料室－日活調布撮影所70周年&VFXの作品たち－」を実施 ②武者小路実篤記念館において、博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえ、登録博物館になるための課題を整理 ③深大寺そば祭り開催期間中における深大寺水車の粉ひきデモンストレーションの実施 ④郷土博物館開館50周年記念事業の実施	①図書館において、引き続き地域ゆかりの資料を収集・保存し、各種テーマの展示等で活用する。 ②武者小路実篤記念館において、登録博物館になるための必要要件の整備と、登録手続を進める。 ③深大寺水車館の観覧や体験活動による「文化観光」の取組及び水車小屋の老朽化対応を進める。 ④市制施行70周年記念事業として展示事業を実施する。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
（郷土博物館） ・収蔵資料データベースの整備・公開の継続【令和6年度・7年度】 ・公式YouTubeを活用したコンテンツの発信【令和6年度・7年度】 ・SNSを活用した収蔵資料や事業の発信の継続【令和6年度・7年度】 （武者小路実篤記念館） ・情報提供システムのリニューアルのうち、収蔵品データベースのシステム設計等実施【令和6年度】 ・国文学研究資料館の近代文学者草稿デジタル化プロジェクトへの参画（2年目） （所蔵原稿のうち474点（4,546枚）をデジタル化）【令和6年度】 ・国文学研究資料館による「国書データベース」でのデータ公開【令和6年度・7年度】 ・実篤記念館収蔵品データベースとのリンク作業及び残り原稿のデジタル化の推進【令和6年度・7年度】	（郷土博物館） ・多様な主体との連携による国史跡下布田遺跡を活用した地域の活力の向上【令和6年度・7年度】 （武者小路実篤記念館） ・地域の事業者との連携によるスタンプラリーの実施。地域への来訪者の回遊性の促進【令和6年度】 ・市内2学童クラブとの実篤記念館利用プロジェクトの実施（年3回）、訪問型支援「みらい」の受け入れ 身近な文化施設での体験機会の提供及び次代を担う子どもたちへのアプローチ・利用拡大【令和6年度・7年度】 ・学童クラブの連携先を2箇所増やす（東部及び多摩川）。【令和7年度以降】 ・中学校のクラブ活動への場の提供とプログラム作り（八中国芸部の活動への協力）【令和6年度・7年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
（郷土博物館） ・国史跡下布田遺跡におけるヤギ除草（試行実施）の継続【令和6年度】 （武者小路実篤記念館） ・休憩コーナーの温度上昇を抑えるため、ボランティア活動の一貫として、ゴーヤカーテンの設置を継続【令和6年度・7年度】	（郷土博物館） ・非常時の電源として活用可能な電気自動車の導入検討【令和6年度・7年度】 ・フェーズフリーの視点も踏まえた史跡整備事業の推進、開園後の事業の検討【令和6年度・7年度】 （武者小路実篤記念館） ・フェーズフリーの視点を踏まえた施設管理と収蔵品の保存方法の検討【令和7年度以降】 ・収蔵資料のデジタルアーカイブ化の推進【令和6年度・7年度】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

・郷土の歴史・文化を後世に継承していくため、基金の活用等により文化財、博物館資料の修繕等による適切な保存・管理を実施することが望ましい。あわせて、資料台帳・データベースの整備を進めることにより、博物館資料の更なる利活用を推進していく必要がある。 ・郷土博物館については、資料の保存場所や保存環境に課題があることから、災害時に浸水の危険性がある収蔵庫の在り方も含め、公共施設マネジメント計画に基づく検討を継続する必要がある。 ・下布田遺跡については、令和9年度下半期に施設の開園が予定されているため、令和10年度以降に施設を活用した各種事業を実施する。開園及び事業の実施に当たっては、ボランティアとの連携・協働が重要であるため、ボランティア養成講座の実施等によるボランティアの確保・育成が必要である。また、郷土博物館と併せて適切な運営に向けた体制整備についても検討を進める。 ・実篤記念館については、情報提供システムの更新を進めるとともに、特色ある展示・普及活動を実施し、実篤の魅力を全国へ発信する。旧武者小路実篤邸の老朽化、実篤公園内の崖の安全対策等の課題への対応のほか、管理運営体制についても検討する必要がある。
--